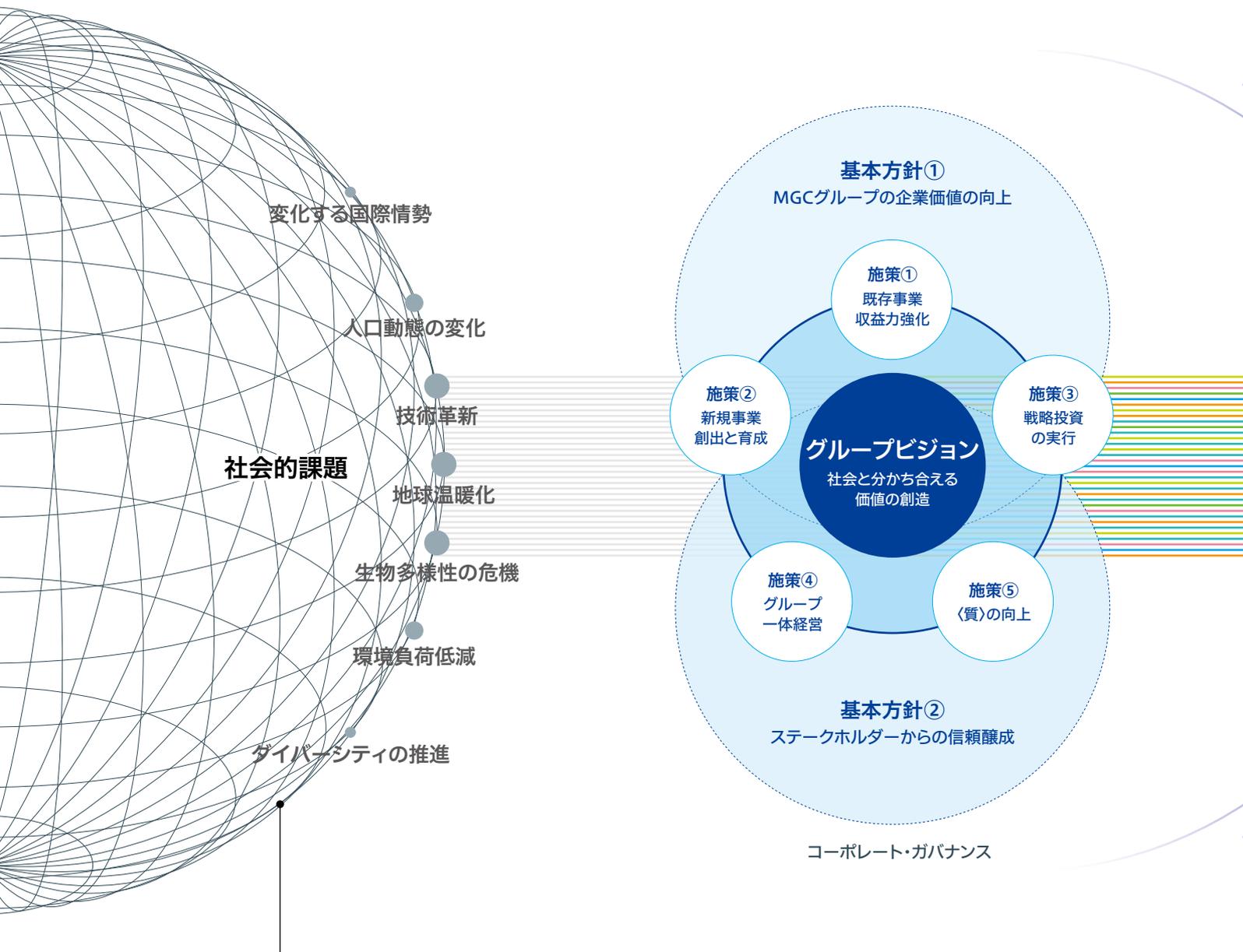


不採算事業の再構築に一定の目途が立ち、  
次の成長ステージへ

## MGC Advance2020 「MGCグループ もっと大きな夢に！」

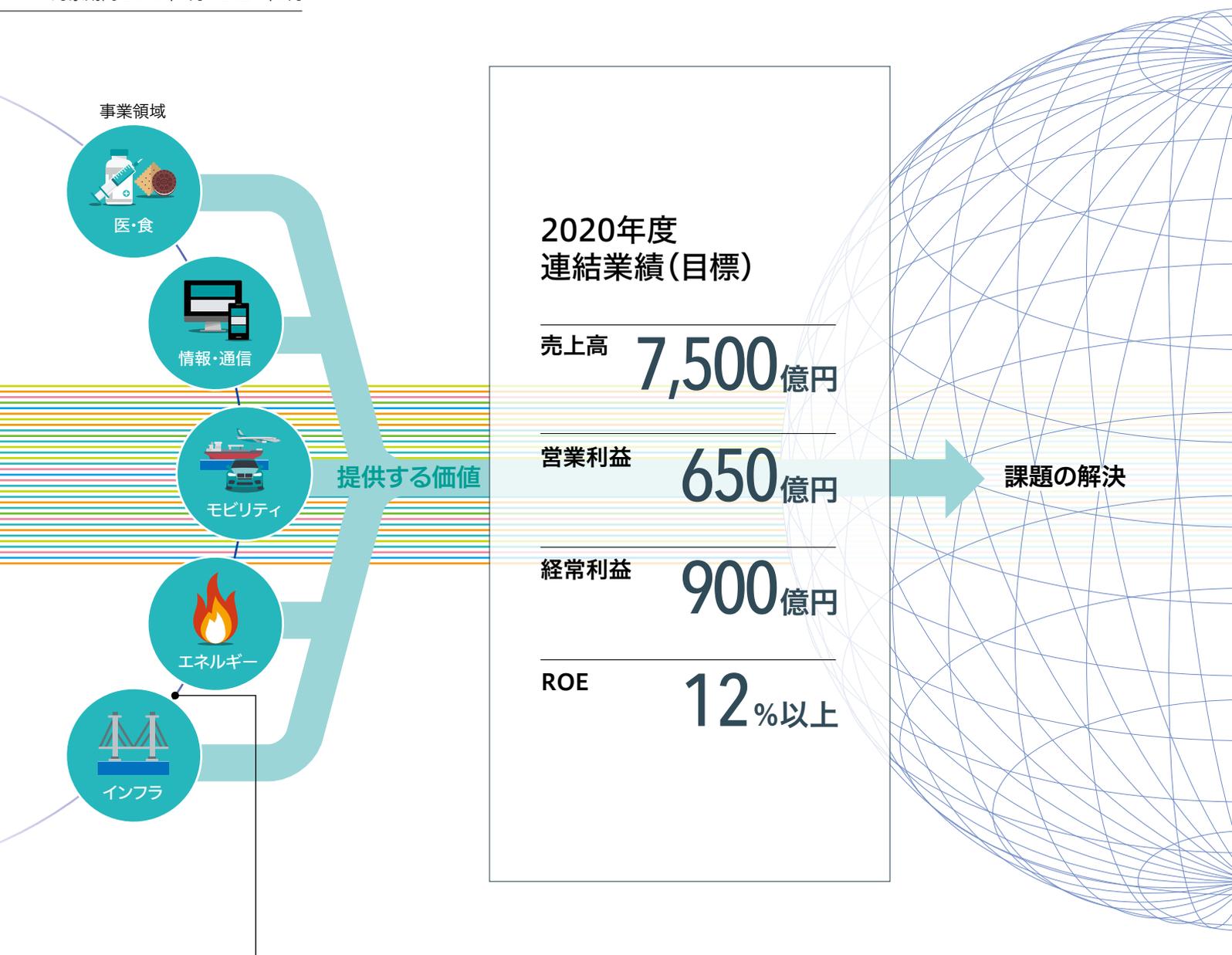


### メガトレンド、重要な社会課題について

地球温暖化、生物多様性の危機といった「自然環境の変化」、人口動態の変化、新興国の経済成長、技術革新の進展などの「社会環境の変化」に見られるように、私たちを取り巻く環境は複雑化し、多くの解決すべき課題が顕在化してきています。

三菱ガス化学グループは、さらなる成長に向けて、こうした変化が事業に及ぼすリスクと機会を特定し、強みを生かしながら、社会課題解決に貢献していきたいと考えています。

対象期間 2018年4月～2021年3月



## 進むべき5つの事業領域について

三菱ガス化学グループは、化学の力に基づき、グループ一人一人が力を合わせて社会から必要とされる価値ある製品・技術を創出し、直面する社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

三菱ガス化学グループの多様な製品群は、進むべき5つの事業領域の分野において、単に利益を追求するのではなく、「社会的な価値」あるいは「環境的な価値」をも創出することにより、安心・安全社会の実現に貢献していきます。

# 基本方針を実現するための5つの施策

## 基本方針

### MGCグループの企業価値の向上

三菱ガス化学グループは共に経営戦略を実践し、安全性・効率性・生産性・収益性を絶えず追求することにより事業を拡大成長させ、さらに新しい事業を創出することによって企業価値の向上を図っていきます。

### MGCグループを取り巻くステークホルダーからの信頼の醸成

三菱ガス化学グループは当社を取り巻く多様なステークホルダーからの信頼の醸成に努め、企業としての社会的な責任を果たしながら、持続的に成長していきます。

## 5つの施策

- 1 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化
- 2 新規事業の創出と育成
- 3 最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略の実行
- 4 MGCグループ一体となった経営の推進
- 5 持続的成長を支える〈質〉の向上

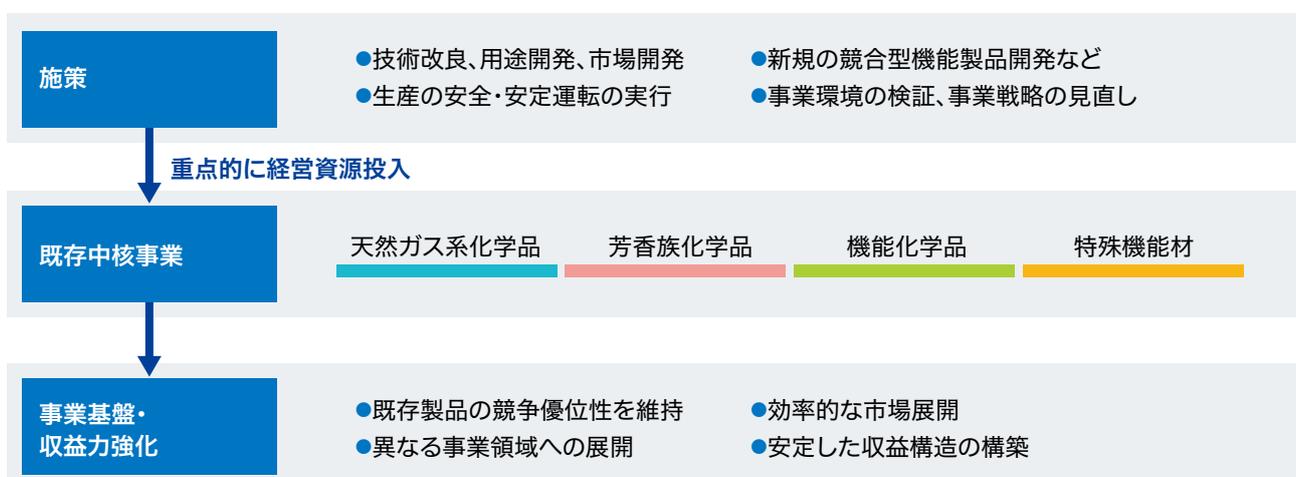
## 施策 1 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化

三菱ガス化学の強みに基づく既存中核事業に重点的に経営資源を投じ、既存事業の収益力を強化します。

- 既存事業の収益力強化のため、技術の改良を進め、競争優位性の維持、効率的な市場展開を図ります。
- 既存製品については、新たな用途開発、市場開発に取り組むとともに、異なる事業領域へ展開を図ります。
- 生産については安全安定運転により、収益力・事業基盤の強化を図ります。
- 市況変動型汎用製品と競合型機能製品のバランスを取りながら、新規競合型機能製品を絶えず投入することにより、安定した収益構造の構築を目指します。
- トリニダード・トバゴプロジェクト、北米超純過酸化水素工場の円滑な立ち上げ、特殊ポリカーボネート能力増強(2019年)を確実に実行し、また、メタキシレンジアミン(MXDA)国内工場増強・新工場計画(2022年)を検討するなど、事業基盤の拡大・強化を図ります。

### 競合型機能製品例

■ メタノール誘導品	■ MXDA/MXナイロン	■ 電子工業用薬品群	■ BT積層板
■ ライフサイエンス系製品	■ 芳香族アルデヒド群	■ 高機能性ポリカーボネート	■ 脱酸素剤

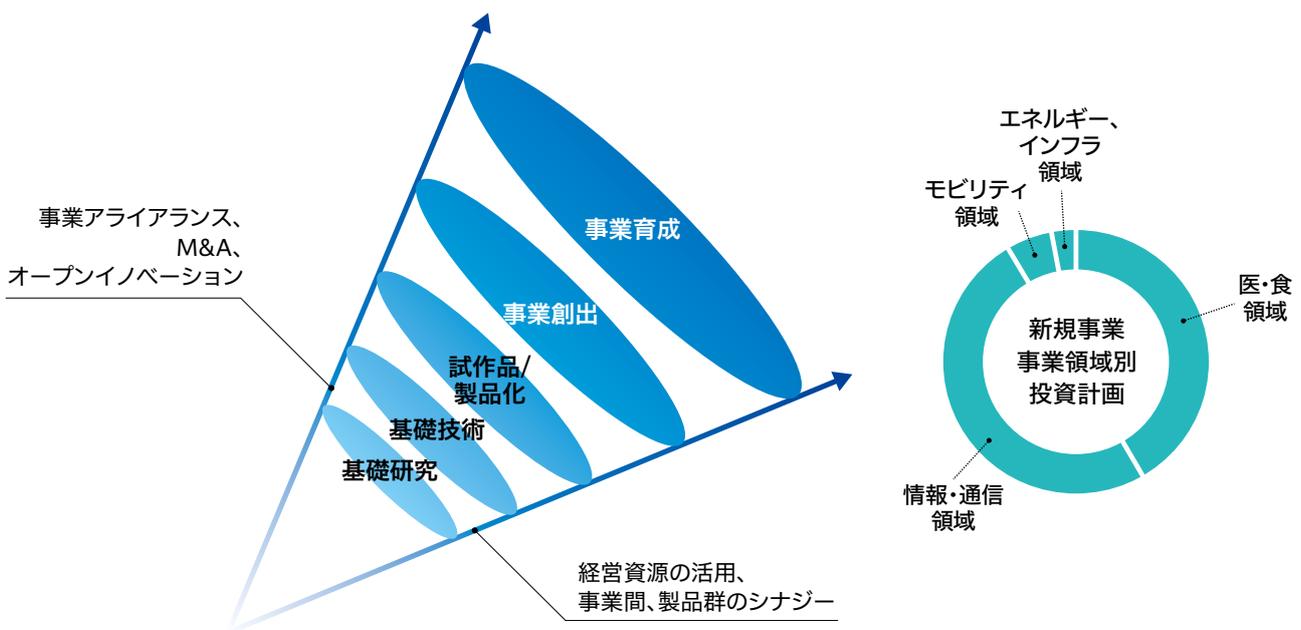


## 基本方針を実現するための5つの施策

### 施策 2 新規事業の創出と育成

三菱ガス化学グループが将来にわたり存続していくため、新技術、新製品の開発に積極的に取り組み、新規事業の創出と育成を図ります。とりわけ「医・食」、「情報・通信」、「モビリティ」の領域に積極的な投資を行います。

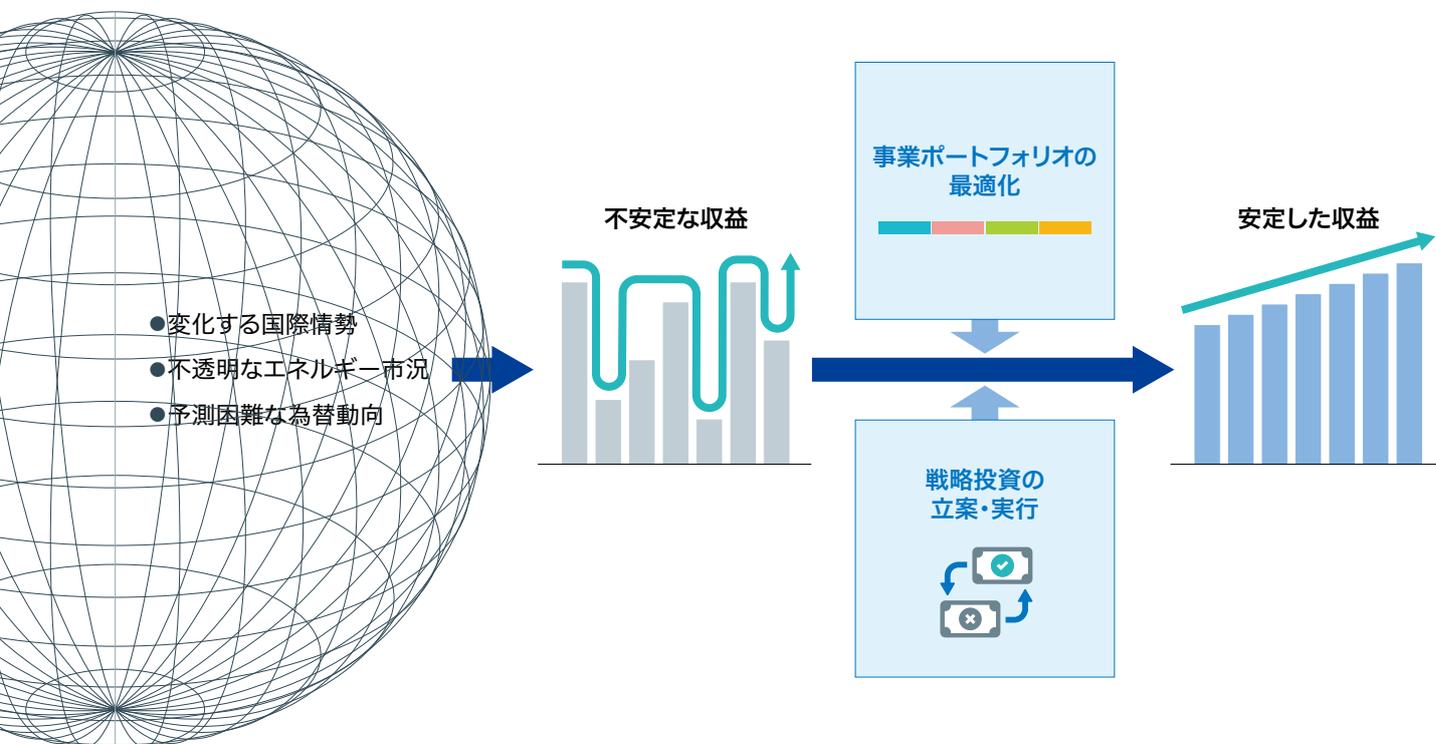
- 新技術、新製品の開発に当たっては、メガトレンドに対する市場の変化およびそのスピードへの感度を高め、ターゲットを的確に絞り込み、タイミングを逸することのないよう対応します。
- 新しい事業の創出のために、他社との事業提携、M&Aなど、従来の経営手法にとらわれない、より積極的な経営資源の活用にも取り組みます。
- 抗体医薬やバイオプロダクツ、医療包材、工場生産野菜、ネオプリム®、半導体関連材料(5G対応材料、半導体下層膜など)、固体電解質、CFRP用硬化剤などの新規事業の創出と育成に注力します。



## 施策 3 最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略の実行

三菱ガス化学グループの安定した収益構造を構築するため、最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略を立案し、実行します。

- 新しい技術・製品、新しい事業を絶え間なく生み出していくことにより、収益源の多様化を図り、汎用製品、高機能製品、特殊製品、新規製品のそれぞれが三菱ガス化学グループをバランス良く支えていくよう、投資戦略を立案、実行します。
- 投資戦略の立案に当たってはメガトレンドに対する市場の変化やスピードを勘案し、成長投資による企業価値の向上を図ります。

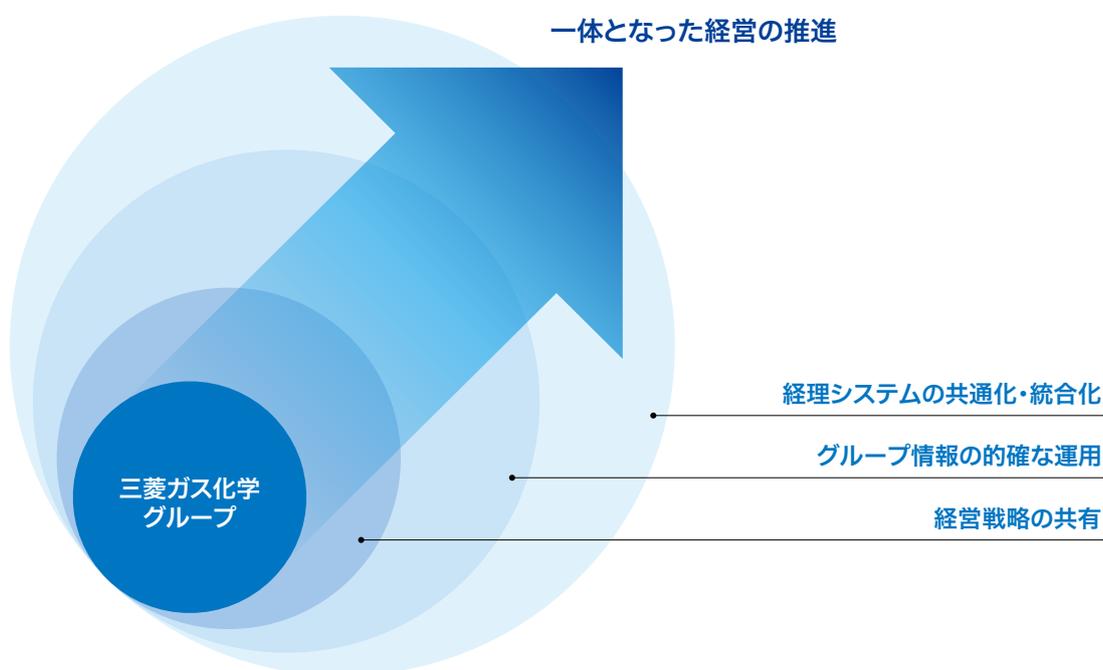


## 基本方針を実現するための5つの施策

### 施策4 MGCグループ一体となった経営の推進

三菱ガス化学グループの企業価値向上に向け、グループが一体となって、三菱ガス化学の経営戦略を共有し、日々の事業を進めていきます。

- 三菱ガス化学グループの情報を適切に把握し、グループ経営の効率化につなげるため、BMU(Business Management Unit)導入による連結での事業管理、経理・会計システムの共通化・統合化、三菱ガス化学グループ3商社統合などに向け、継続して取り組みます。
- グループが行う個々の投資活動に対する適切な実績評価システムの構築など、グループ経営の視点で投資管理手法の高度化を推進します。



## 施策 5 持続的成長を支える〈質〉の向上

三菱ガス化学グループの持続的成長を図っていくため、人材、資金、技術、情報、ブランド、知的財産などの経営資源の〈質〉を常に向上させ、それらの経営資源を有効に活用していきます。

- グループ全体にわたる安全意識・文化の一層の向上とその実践に取り組みます。
- コーポレート・ガバナンス体制の実効性ある運用と強化・充実を図ります。
- コンプライアンス、リスク管理のグループ全体を通じた水準の向上を図ります。
- 良質な人材の育成を図ります。
- イノベーションを生み出す研究開発力の育成を図ります。
- 情報システムの効率化を図ります。



## 進むべき5つの事業領域の取り組み例

### 医・食

#### 抗体医薬

患部(抗原)のみに作用し、副作用が少ない、安全性に優れた医薬品

培った動物細胞培養技術、製造プロセス開発力を生かして、抗体医薬品原薬の開発初期段階から製造までをカバー。高品質で安心な治療に貢献します。



OXYCAPT™

#### 酸素も水蒸気も遮断できる プラスチック製バイアル・シリンジ

ガラス並みのガスバリア性を持つ、世界で唯一のプラスチック製容器です。ガラス製に比べて、軽量で、無機物の溶出がなく、ガラス破損事故も防止できる安心・安全な医療用容器です。



PQQ、SAmE 含有酵母

#### 人々の健康に貢献する食品素材

脳の健康維持が期待されるPQQ(ピロロキノリンキノン)やSAmE(S-アデノシルメチオニン)、SPD(スベルミジン)などの機能成分と酵母栄養成分を含む機能性乾燥酵母など、バイオテクノロジーを利用して、さまざまな食品素材を提供しています。



#### 脱酸素剤 / MXナイロン

#### 「酸素」を吸収・遮断する 機能性材料

酸素を吸収する脱酸素剤、酸素を遮断するMXナイロンは、食品や医薬品を酸化による劣化から守り、品質保持、製品ロス低減などに役立っています。

# 情報・通信

## ネオプリム®(透明ポリイミド)

### 曲げることが可能な 無色透明性の樹脂フィルム・ワニス

軽くて薄く、高い耐熱性と透明度を持ち、曲げることが可能なネオプリム®は、ガラス基板に代わる樹脂フィルム・ワニスとして、有機ELディスプレイの実現に貢献します。



## ユピゼータ®EP(特殊ポリカーボネート)

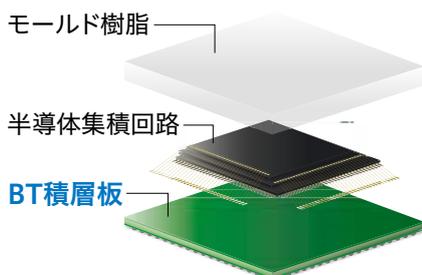
### モバイル機器用カメラの 小型化・高解像度化に貢献する レンズ材料

高屈折率・低複屈折性などの光学特性を備えており、モバイル機器のカメラレンズに使用されています。車載カメラやセキュリティカメラへの展開も期待されています。

## 電子工業用薬品

### 電子工業分野の技術革新を支える 高純度の洗浄・剥離剤

半導体デバイスの洗浄に使用される超純過酸化水素、超純アンモニア水をはじめ、液晶ディスプレイやプリント配線板などの電子工業製品の製造プロセスで使用される各種機能性薬液が、世界中の電子工業を支え、その技術革新に貢献しています。



## BT積層板

### 電子機器や情報技術の進化を支える半導体パッケージ材料

三菱ガス化学が世界で初めて開発した積層板材料です。高い耐熱性と優れた電気特性を兼ね備え、モバイル機器、自動車、家電製品などの小型化・薄型化・軽量化・高機能化・省電力化に貢献しています。

## 進むべき5つの事業領域の取り組み例

### ポリカーボネート/ポリアセタール

#### 剛性・耐衝撃性に優れた エンジニアリングプラスチック

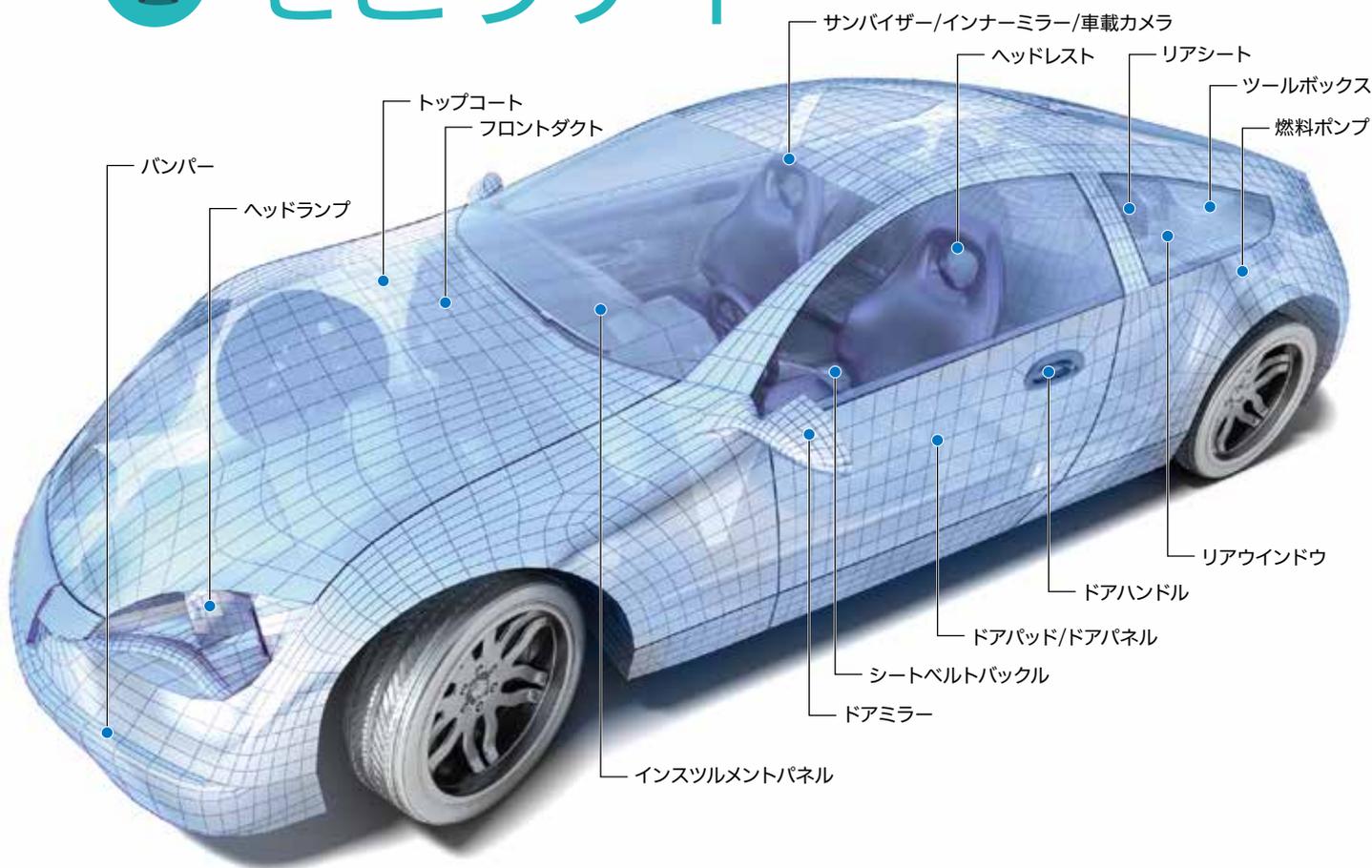
ポリカーボネートは高い衝撃性や透明性からヘッドランプやドアハンドルに、ポリアセタールは耐摩擦摩耗性や耐薬品性を生かして燃料ポンプや内装部品などに使われ、自動車の燃費向上や加工性改善、意匠性向上に貢献しています。

### 発泡プラスチック

#### 軽量化の要望に大きく応える素材

バンパーやシートなど自動車の内装に多く使われています。緩衝性が高く、衝突安全性能の向上や、車体の軽量化や燃費向上に貢献しています。

## モビリティ



### メタキシレンジアミン(MXDA)/ 1,3-ビスアミノメチルシクロヘキサン(1,3-BAC)

#### 繊維強化プラスチックを作る硬化剤

CFRP(炭素繊維強化プラスチック)などのエポキシ硬化剤に使用され、自動車の軽量化・燃費の向上に貢献しています。

### メタクリル酸グリシジル(GMA)

#### 自動車向けトップコート塗料

耐酸性雨や耐擦り傷性を有する塗料の原料として使用され、自動車の耐候性向上に貢献しています。

# エネルギー

## 直接メタノール形燃料電池

### 音が静かでクリーンな発電機

メタノールと空気を原料として電気を発電します。化学反応で発電するため、音が静かで、大気汚染物質を発生しません。数日以上連続して電力供給が可能です。



## 天然ガス火力発電

### 「新たなエネルギーの創出」に参画

環境負荷の低い天然ガスを燃料とした相馬港天然ガス火力発電事業に参画し、電力の安定供給に貢献します。この事業は、国が2014年に決定した「福島・国際研究産業都市構想」において「新たなエネルギーの創出」プロジェクトに位置付けられています。



## アンモニア

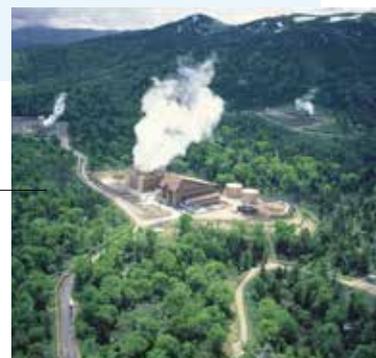
### 石炭火力発電脱硝用還元剤

アンモニアは脱硝用の還元剤として使用され、窒素酸化物を除去し、大気汚染防止に貢献しています。

## 地熱発電

### 再生可能なクリーンエネルギー

季節、気候の変化によらずに発電できるため電力の安定供給に貢献します。発電時には、CO<sub>2</sub>の発生を限りなく抑えます。



進むべき5つの事業領域の取り組み例

# インフラ

## 過酸化水素

### 土壌を浄化する環境薬剤

過酸化水素と触媒を用いたフェントン反応により、揮発性有機化合物(VOC)などで汚染された土壌を浄化します。



## メタキシレンジアミン(MXDA)

### 防食性を高める塗料硬化剤

橋梁などの建造物や工場の配管、タンクなどの塗料に使用され、金属の劣化を防いでいます。